

第1回（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会

〔市長あいさつ〕

お忙しい中，お集まりいただきまして本当にありがとうございます。私が市長になりまして，これは公約でもありますので，すぐ取り掛かるようにと指示してあって，やっところまで参りました。みなさんの努力と意見で一緒につくろうと，おそらく富里の条例づくりでも始めてだろうなと思いますけど，協働で条例を作っていこうということで，皆さん方を募集したわけでございます。

最初は，ほとんどが応募してくれないというのが，今までの例だったんですけど，これに関しては非常に多くの応募がございまして，皆様方を選ばせていただきました。それともう一つは，各団体からも推薦をいただいて。今日は，アドバイザーとして関谷先生にきて頂きましたけれども，みなさんは忌憚のないご意見をどんどん言っていただいてアドバイザーの先生に指導いただいて，よろしくをお願いします。

また，今，富里だけではなくて，ほうぼうで協働のまちづくり，例えばまちの基本条例とか作られて，今も関谷先生ともお話したんですけども，富里は非常にまだ新しい市でございしますが，新しくこされた市民のみなさんが大半であります。元々の市民というのは約1万2千人くらいでありますので，新しくこられた皆さん方が色々な事を言っていただいて，そしてそれをまとめてくというのが，今回，一番必要なのかなと感じもいたしておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

富里市においても，これらの仕組みづくりが必要であると思ひますので，「（仮称）富里市協働のまちづくり条例」の検討を開始したところでございします。1つは，市民参画のルールを明確にし，市民と共に市政運営を行っていく仕組みを構築することでありします。もう1つは，市民や市民活動団体，市役所などがそれぞれの得意，不得意なことを補ひ，助け合ひ，協力して様々な事業を実施して行くことにより，市民の笑顔あふれる，活気ある地域社会を築いていこうということですので，この考え方のもとに，検討委員会の皆様方には，これから約1年にわたるご検討をお願いすることになりますが，富里市のまちづくりにおいて，何が必要であるのか，また，まちづくりの様々な主体がどのような役割を担ひ，ともに協力しながら，どのように関わっていくのかということ十分に議論いただき，条例の一つひとつの条文に皆様方の思ひを込めていただ

きたいと期待をしているところでございます。

また、その議論の過程自体も、本市の大切な住民自治の財産になるものと思っているところでございます。

終わりにになりましたが、条例と言うと何か硬く、難しく考えがちでございますけれども、皆様方の普段の活動で思っていること、感じていることを市民の目線からご自身の言葉で発言、議論をしていただくことが最も良い検討になると考えております。どうぞ忌憚のない言葉で、富里市の協働のまちづくりへの思い、ふるさと富里への思いをご議論いただくようお願いしたいと思います。

簡単でございますけれども、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。